

2019 年度研究助成 研究実績報告書

代表研究者	駒澤伸泰
研究テーマ	多職種連携を意識した網羅的災害訓練プログラムの開発

< 助成研究の要旨 >

本研究の目的は、多職種連携を意識した網羅的災害訓練プログラムの開発である

第一段階 国内外の病院災害訓練法の網羅的探索

第一段階として、災害時の病院災害教育において、何が必要か、という「学習ニーズ」の網羅的把握を行った。災害時の国内外の手術室関連の医療事故等の資料を収集し、それぞれの災害時の病院規模や被災状況における対応を総括した。また、人為的災害であるテロ対策に関しては、欧米のシミュレーション教育法を調査し、総括を行った。

第二段階 学習ニーズに基づいた各種災害に網羅的に対応できる病院内訓練法確立

第一段階で総括した国内外の学習シナリオを改善し、教育病院群のメディカルスタッフによる参加からシナリオや学習スタイルへのフィードバックを行った。シナリオとしては、火災・災害・地震・津波・不審者侵入・テロの対応等についても含めた。

それぞれのシナリオに対して、①病院自体が被災しているか、②被災地区内か、③被災地区外か、の3パターンに分けて検討する。シミュレーション教育法としては、マネキンを用いたシナリオシミュレーションだけでなく、Problem-based learning and discussion を用いた。

これらの、シミュレーション教育法を用いた網羅的災害訓練法には、医師・看護師・臨床工学技士などのメディカルスタッフだけでなく、病院事務職員も含める計画をていした。

さらにメディカルコントロールの救急救命士を対象に作成したシナリオも近隣の消防司令の協力を得て構築を試みている。

第三段階 各種災害に網羅的に対応できる病院内訓練法の人工環境システムへの応用

第三段階として、網羅的災害シミュレーション教育の人工環境システム(E-learning、バーチャルリアリティー、遠隔学習システム等)への応用を行う予定であり準備を行っている。

これらの人工環境システムに関して、ホームページ、論文、学会発表により、教育病院群以外の一般医療者に開放し、評価とフィードバックによる改善を行う。さらに、初期のフィードバックを受けて内容を改善し、包括的な災害時シミュレーション教育法として公開する予定である。

評価やフィードバックを受け、改善に努める。将来的には、日本医学シミュレーション学会、日本手術医学会、日本麻酔科学会と連携してパブリックアクセス可能な人工環境を用いた災害対策シミュレーション教育システムを確立することを予定している。これらの作業によりサステナビリティを有する各種災害に網羅的に対応できる病院内訓練法の普及につなげたい。